



北海道稚内養護学校
学校便り
令和8年2月6日発行
第5号
発行者 柴田 和千代

今年もよろしくお願ひいたします

稚内市内ではインフルエンザ等の感染症が流行し、インフルエンザ警報が発令される日々が続くなど、心配な状況が続きましたが、本校においては感染症が流行することなく、児童生徒の学びを着実に進めることができました。2学期を無事に終了することができ、大変うれしく思います。今年度も残すところ2ヶ月となりましたが、基本的な感染対策を講じながら、児童生徒が健康で楽しく学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

さて、地震の少ないと言われる宗谷地方ですが、1月12日から最大震度3を計測する地震が繰り返し発生しています。全国各地で地震による被害が発生していると報道がされていますが、稚内においても決して他人事ではないことを改めて感じました。

本校では秋に声問小学校と合同で地震による津波発生を想定した避難訓練や宗谷総合振興局と稚内市役所にご協力のもと、1日防災学校を開催しました。1日防災学校には声問小学校の児童、声問町内会の皆さんにもご参加をいただき、共に防災に対する意識を高めることができました、そして、段ボールベッドの組み立てや簡易トイレの使い方を体験的に学ぶことができました。

冬季休業中には昨年に引き続き、本校を主体校に声問小学校、稚内東小学校、稚内東中学校と連携をし、地域連携研修会を開催しました。講師に独立行政法人国立特別支援教育総合研究所西日本ブランチ広島オフィスより大崎博史先生をお迎えし、連携校の教職員と地域の特別支援教育に関わる方々、そして、オンラインによる道内特別支援学校教職員の参加のもと、学習指導要領に基づいた教育課程の編成や子どもが育つ授業づくりについて学びを深めることができました。

今後も宗谷管内唯一の特別支援学校として、地域のお力を借りしながら、本校児童生徒の学びと特別支援教育のセンター的機能の充実に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

(文責：教頭 北原)

1日防災学校



地域連携研修



寄宿舎の様子

今年度の寄宿舎には、稚内養護学校の全校生徒の約半数にあたる16名の児童生徒が在舎しています。

このような大所帯となった寄宿舎では、今年度も歓迎会やまなす祭、地域のゴミ拾い活動、稚内北斗ライオンズクラブとの交流など、さまざまな行事が行われました。

そんな中、12月17日（水）には、2学期最後の行事であるウィンターフェスティバルを実施し、「bingoゲーム」や「雪だるまりレー」を行いました。雪だるまりレーでは、男子棟・女子棟に分かれ、それぞれがパートを1つずつ付けていき、雪だるまを完成させていくリレーに取り組みました。子どもたちは一生懸命に参加し、かわいい雪だるまが2つ誕生しました。そして最後は、みんなでケーキを食べたりジュースを飲んだりしながら、とても楽しく、おいしい時間を過ごしました。

3学期もおつかれ様会などの行事があります。この1年で、また良い思い出を増やせるよう、寄宿舎での生活を楽しんでほしいと思います。

（文責：教諭 増田）



高等部職場実習

高等部では、6月30日（月）～7月4日（金）、9月29日（月）～10月17日（金）の日程で職場実習を行いました。

1年生は、前期は校内実習、後期は稚内市内にある事業所で5日間の実習を行いました。高等部に入って初めての実習でしたが、職場の方の話をよく聞いて時間いっぱい仕事に取り組むことができました。

2年生は、前期は石塚建設の温泉水の包装を、後期は2カ所の事業所で仕事を体験しました。バスでの通勤や昼食の買い物にも徐々に慣れ、様々な仕事を経験する中で、自分自身の進路について考える良い機会となりました。

3年生の後期の実習は、卒業後の利用を視野に入れた3週間の単独実習でした。前期実習の経験を活かし、自分自身で見つけた課題を解決しようと努力する姿が見られました。

全体の事後学習では、実習で学んだことを発表し合い、卒業した先輩たちのメッセージを聞いて、卒業後の進路について考えることができました。

職場実習を行うにあたり、保護者の皆様には、様々なご支援、ご協力をいただき感謝しております。今後も生徒たちがより良い進路選択ができるよう保護者の皆様と相談しながら進めてまいりたいと思います。

（文責：教諭 中畠）



3月の行事予定

- | | |
|--------|------------|
| 4日（水） | 寄宿舎：おつかれ様会 |
| 13日（金） | 卒業式 |
| 20日（金） | 春分の日 |
| 24日（火） | 修了式 |